



昭和49年 12月17日 差出

特許庁長官

- ## 2. 考 案 者

住 所 名 古屋市北区水草町 1 丁目 18 番地 (テイネン工業株式会社内)

氏 名 マツ オカ スケ ハル
松 岡 助 春

- ### 3. 實用新案登録出願人

住 所 ナゴヤ シキタ クミズサナヨウ チオウメ バンチ
名古屋市中区水島町1丁目18番地
氏 名 コウヨウカブシキガイシャ
テイネン工業株式会社
(国 籍) 代表者 佐藤 直

- #### 4. 代理人

住所
氏名

方式審查

- ## 5. 添付書類の目録

- | | | | |
|-----|------|---|----|
| (1) | 明細書 | 1 | 通 |
| (2) | 図面 | 1 | 通 |
| (3) | 願書副本 | 1 | 通 |
| (4) | (| | 通) |

49-152942

明 細 書

1. 考案の名称

塵 取

2. 実用新案登録請求の範囲

塵の取入れ口 1 の接地部 2 を、外部 3 は円味を帯び内部 4 は V 字状の波形に形成し、接地部近辺の塵取 5 底面 6 には接地部に平行に緩かな山形 6 を形成してなる塵取。

3. 考案の詳細な説明

本考案は塵の取り残しを最小限におさえて塵を収容できる塵取に係るものである。

従来は塵取は箒を使って塵取内部に塵を収容する際、砂、ほこり等の微細な塵は塵取の取入口の接地部の厚み分だけ地上に残され、該部に 1 条の山成りの線を形成する。

取り残された該塵はなお 2 ～ 3 度箒を使って塵取内部に掃き入れるが満足にとりきれないのが現状である。

本考案はかかる不便をとり除き箒で 1 度塵を塵取内部に掃き入れるだけで満足すべき結果を得られるようにしたものである。

即ち図示した如く塵の取入れ口 1 の接地部 2 を、外部 3 は丸味を帯

び内部4はV字状の波形を形成して、接地部近辺の塵取5底面6には接地部に平行に緩やかな山形7を形成してなる塵取5である。

本考案は以上のように構成されているので等によって集められた塵は塵取取入口1に収集され収容されるに際し、微細な砂やはこりは丸味を帯びた取入口に沿ってV字状取入口の最凹部4に集合するが、地上1に残される塵は取入口接地部2の厚みの高さ分だけ点状に散在してわずかに残るのである。

従来の塵取において残る塵が塵取接地部厚み分だけ線状に残されるのに比較してはるかに収容能力は高い。さらに塵取内部に収容された塵の砂やはこり等は塵取底面6に設けられた山形7を越えて収容されているため塵取接地部2の波形のV字状凹部4の隔間よりこはれることがない。

なお取入口の接地部外部3を丸味に形成してあるのはごみのスムーズなV字状凹部への稼働をはかると共に清掃作業中の危険を避ける効果を有するのである。

また本考案による塵取は取入口1が波形のため意匠的効果も著しく、該塵取を使用する者は満足感、爽快感を得られ極めて付加価値が高い。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の概要図である。図中~~塵~~塵の取入れ口2は塵取接地部、3は該波形接地部外部、4は該波形接地部V字状凹部、5は塵取、6は塵

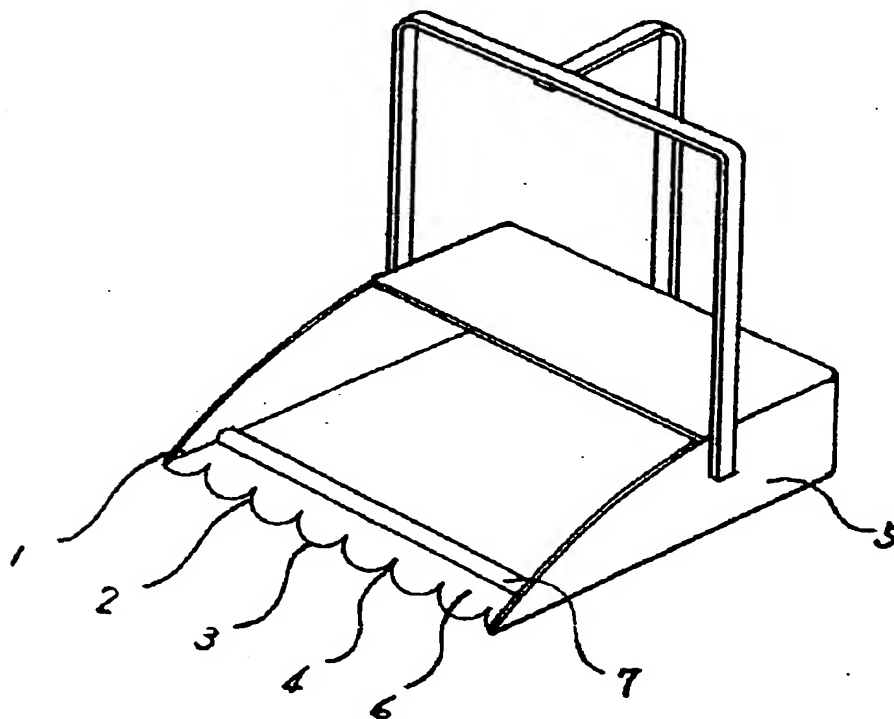
取底面7は壘取底面に形成した山形である。

実用新案登録出願人

ティネン工業株式会社

BEST AVAILABLE COPY

第 1 図



77882

実用新案登録出願人
アイネン工業株式会社